



## クオリカプス環境方針

クオリカプスは国内で初めて世界文化遺産に登録された法隆寺をはじめ7～9世紀の数多くの文化遺産・史跡が残る奈良盆地のほぼ中央に位置する緑豊かな自然環境の中で1965年4月から医薬品・健康食品用ハードカプセルの製造販売及び製剤関連機械の開発・製造・販売の事業活動を行ってきた。

「クオリカプスは『人々の健康に貢献する』ことを目的として、必要な最もよい製品を提供する」という基本方針を遂行するにあたり、企業も社会の一員であることを深く認識し、地球温暖化への対応及び環境の汚染の予防に努め、後世にきれいな環境を引継ぐために全事業活動を通じて以下の事項を推進する。

- 1.環境活動を推進するため、環境マネジメントシステムを構築し、責任と権限を明確にする。
- 2.全ての部門の事業活動はライフサイクルの視点に従って、省資源・省エネルギー・自然界への有害物質放出の削減及び産業廃棄物の低減を念頭に置いて環境目標・プログラムを設定し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努める。
- 3.環境関連の法規制、条例、協定を順守することに加えて、社会、業界、及び顧客要求への同意事項、更に技術的、経済的に可能な範囲で自主基準を制定し、これらを順守する。
- 4.定期的に環境マネジメントシステムの内部監査を実施、設定した環境目標・プログラムの進捗度を管理すると共に、これらを定期的に見直し、環境管理システムの向上に努める。
- 5.この方針は組織の管理下で働く人々に周知し環境問題の教育、必要な訓練を通じて環境保全への意識の向上と事故の防止及び迅速な対応を図る。
- 6.この環境方針は利害関係者からの要求に応じて開示・提供する。

制定 2000年 12月 1日

改訂 2020年 8月 1日

クオリカプス株式会社 代表取締役社長

松村 誠一郎

